PeptiDream
各　　位

平成 26 年 7 月 16 日
ペプチドリーム株式会社
http://www.peptidream.com/
（証券コード：4587　東証マザーズ）

研究開発部門責任者の就任に関するお知らせ

ペプチドリーム株式会社（代表取締役社長：窪田規一、本社：東京都目黒区、東証マザーズ、以下「ペプチドリーム」）は、今後の自社創薬に係る研究開発を本格的に推進し、事業をさらに発展させるため、本日、スイス・ノバルティス社（バーゼル本社研究所）から舛屋圭一博士を当社の研究開発部門責任者（「研究開発部長兼チーフ・オペレーティング・オフィサー（COO）」）として迎え入れることになりましたのでお知らせいたします。

舛屋氏は1988年に東京工業大学にて博士号を取得後、三菱東京製薬株式会社（現・田辺三菱製薬株式会社）、ノバルティス社（つくば研究所）を経て2005年からノバルティス社のスイス・バーゼル本社研究部門において革新的な創薬研究開発に従事し、目覚ましい実績をあげており、2012年には最も優れた実績をあげた研究者に贈られる「Novartis Leading Scientist」を受賞しています。

創薬研究開発の成果として、米国食品医薬品局（FDA）への承認申請品目は５件を超え、25件を超える特許を出願しています。中でも特筆すべき実績として、2013年３月には開発中の新規ALK阻害剤LDK378が、既治療のALK陽性非小細胞肺癌（NSCLC）の治療薬として、米国食品医薬品局（FDA）よりBreakthrough Therapy（画期的な治療薬）の指定を受け、2014年４月には、ファースト・イン・クラス（全く新規の医薬品：いわゆる「ピカ新」）として承認されています。また、PPI Inhibitors（Protein-Protein Interaction 阻害剤）の分野では第一人者であり、既に２品目を臨床開発（Ph-I）に入れている実績があります。

なお、この度の舛屋氏の研究開発部長就任に伴い、これまで研究開発部長を務めていたリード・パトリックは常務取締役研究開発部担当兼チーフ・サイエンティフィック・オフィサー（CSO）となります。

【ペプチドリーム株式会社・社代表取締役・窪田規一のコメント】

創薬研究開発には経験と実力を兼ね備えた優れたマネージャーが必要になります。ペプチドリームは、今後のアライアンス事業における共同研究開発体制のさらなる充実に加え、自社創薬開発の積極的な推進を図ってまいります。舛屋圭一博士の参加により、当社の創薬研究開発体制が充実し、事業の推進が加速されるものと確信しています。

【舛屋圭一のコメント】

多くのグローバルファーマから認められ、優れた技術力をベースに発展してきたペプチドリーム社の一員として、日本発の創薬に貢献できることを大変喜んでおります。アライアンスのみならず自社創薬研究開発の充実及び加速に全力で取り組んでいく所存であります。

【ペプチドリーム株式会社について】

ペプチドリーム株式会社は、独自の創薬開発プラットフォームシステム「PDPS」を用いて、「特殊ペプチド」による新しい創薬のための研究開発に取り組んでいます。「日本発・世界初の新薬を創出し社会に貢献したい」という現社長・窪田と現社外取締役・菅（東京大学大学院教授）の共通の夢から、平成 18 年7月に設立されました。

平成 26 年 7 月 16 日現在、海外製薬企業 7 社及び国内製薬企業 2 社とともに、まだ見ぬ新薬の製品化に向かって日々共同研究開発を進めています。

【本リリースに関するお問い合わせ先】
ペプチドリーム株式会社　経営管理部　関根
TEL：03-3485-7707